

# 週報

令和 5 年 3 月 31 日

2022~2023年度 No.29

2022-23年度 国際ロータリーのテーマ



国際ロータリー会長 ジェニファー E. ジョーンズ

## プログラム

S A A 有川 真史君

☆点 鐘

☆ロータリーソング斉唱

「手に手つないで」

☆四つのテスト斉唱

☆食事懇談

☆会長の時間

☆幹事報告

☆委員会報告

①親睦委員会

・スマイルボックス報告

☆部内卓話

「補助金管理セミナー報告」

平村 和弘君

☆点 鐘

| 現在会員   |     |       |       |       | 30名     |         |         |         |       | 前々回の欠席者(3/10) |        |       |       |  | 1名 |  |
|--------|-----|-------|-------|-------|---------|---------|---------|---------|-------|---------------|--------|-------|-------|--|----|--|
| 本 日    | 出席  | 20名   | 欠席    | 4名    | 免除(a)欠席 | 3名      | 免除(b)欠席 | 3名      | 出席率   | 83.33%        |        |       |       |  |    |  |
|        | 前々回 | 出席    | 19名   | MU    | 4名      | 免除(a)MU | 3名      | 免除(b)MU | 3名    | 修正出席率         | 95.83% |       |       |  |    |  |
| 月別出席率% | 7   | 8     | 9     | 10    | 11      | 12      | 1       | 2       | 3     | 4             | 5      | 6     |       |  |    |  |
|        | 本年度 | 75.55 | 81.16 | 83.53 | 77.58   | 89.84   | 89.31   | 87.32   | 93.48 | 86.46         |        |       |       |  |    |  |
|        | 前年度 | 74.94 | 休会    | 休会    | 81.53   | 77.59   | 73.49   | 85.71   | 休会    | 70.49         | 69.74  | 70.51 | 77.60 |  |    |  |

例会場  
例 会  
事務所  
カンパーナホテル TEL(0959)72-8111  
金曜日(12時30分~13時30分)  
長崎県五島市末広町8-4  
福江商工会議所内 TEL(0959)72-3108

会 長 才 津 喜 彦  
副 会 長 中 村 吉 廣  
幹 事 西 上 裕 一郎  
雑誌:会報委員長 寺 澤 信 義

## 会長の時間

会長 才津 喜彦君

皆様、こんにちは。それでは3月度第4例会29回目の会長の時間を始めます。

先週3月22日(水)、あれだけ楽しみにしていたWBCもあっという間に終わってしまいました。結果は皆さんご存じの通り、これ以上ない最高の結果で、はっきり言って準決勝・決勝の午前中は全く仕事になりませんでした。また、10月から始まったNHK連続テレビ小説「舞いあがれ!」も本日、最終回を迎えました。私自身、楽しみにしていた事が2つも終わってしまって“ロス”感はあるのですが、明日より新年度、何かまた楽しみを見つけて1日1日楽しく過ごしていきたいと思っております。

さて、先週3月25日(土)鬼岳芝生広場で開催された「観桜会」に参加して頂いた皆様、そして立案・準備して頂いた親睦委員会メンバー、本当にありがとうございました。年度当初、9月に予定していました「観月会」が新型コロナウイルスの影響で中止になり残念には思っていたのですが、親睦委員会からの提案での今回の開催、若干肌寒くはありましたが、桜の樹の下で行う「観桜会」は格別なものがあり「是非、来年度以降も開催してもらいたい」という気持ちにさせられた事業でした。

それでは、今週の「来たらおいしいイチオシ馬」の前に前回の結果ですが、推奨しました①ボルドグフーシュ2着、③ジャスティンパレス1着で推奨しました馬連・ワイド1点での的中しました。予想通り馬連2.3倍、ワイド1.5倍とガチガチの結果ではありましたが、的中は的中です。この2頭は間違いなく5月30日(日)、4月22日(土)に新しくオープンする京都競馬場で開催される天皇賞春(G I 3200m)の有力馬になると思います。さて今週は、4月2日(日)阪神競馬場で開催される大阪杯(G I 芝2000m)からです。このレースは春の中距離王決定戦、昨年クラシック路線で戦ってきた3歳馬が古馬と対戦する最初のG I レースで、今後の力量を試されるレースでもあります。今回推奨する馬は、④ノースブリッジです。(9番人気、想定オッズ35.4倍)この馬は10月の毎日王冠の時も推奨した馬で、その時は出遅れの5着。その後、天皇賞秋で大敗しましたが、3ヵ月の休養後1月のAJCCで見事1着し、ここに挑んできました。以前は先頭を行かなければ勝負になり

ませんでした。出遅れた毎日王冠で控える競馬を覚え、2.3番手の好位で競馬を出来るようになりました。今回は⑨ジャックドールがハナを行くと思われていますが、その後ろ2.3番手の好位でレースを運べれば勝機はあるのではないかと考えております。血統から見ると、父モーリス1800mベストで2000mは若干長いかなと思いますが、阪神競馬場内回りの2000m枠順も、④番両サイドに行き脚のある馬もいないのでスタートを決め、内で脚をためられれば距離も対応出来ると思っております。また、今回1番人気になるであろう昨年の牝馬クラシック2冠馬⑩スターズオンアース休み明けですが、調教の動きも抜群で、鞍上もルメール騎手と穴はないかと思われていますが、昨年クラシックで戦ってきたスタニングローズやナミュールなど、同年代の馬がことごとく古馬に惨敗しているところが気になるころではあります。今回はベテラン岩田康成騎手の手腕に期待をし、④ノースブリッジを推奨したいと思います。馬券は同じモーリス産駒で岩田康誠騎手の息子、岩田望来騎手鞍上の①ジェラルディーナとの馬連・ワイド①-④1点で勝負したいと思います。以上で会長の時間を終わります。

## 幹事報告

幹事 西上裕一郎君

### 【当クラブ関係】

#### ○観桜会

- 先週3月25日(土)16時より開催されました。詳細は親睦委員会より委員会報告にて。

#### ○次週4月7日(金)の例会にて

- 故北島博志さんの奥様にご出席いただき、ご寄付の感謝状贈呈を行います。

## 委員会報告

## 出席報告

#### ◆3月31日(免除(a)欠席者)

中村 博義君 植松 郁雄君 釜崎 洋君

#### ◆3月31日(免除(b)欠席者)

谷川 和啓君 佐々野邦久君 清瀧 誠司君

#### ◆3月31日欠席者

片山 雅文君 森田 大輔君 柳田 靖夫君  
坂井 成光君

## 親睦委員会

### スマイル報告

- ◇平村 和弘君 セミナー報告をします。ご清聴  
よろしくお願ひします。
- ◇戸田 博之君 今年は数年ぶりに観桜会を行う  
ことができました。皆様、ご協  
力ありがとうございました。
- ◇才津 喜彦君 平村和弘さん、本日の卓話をよ  
ろしくお願ひします。
- ◇中村 吉廣君 ”
- ◇西上裕一郎君 ”
- ◇吉田 泰之君 ”
- ◇中村 栄治君 ”
- ◇張本 民雄君 ”
- ◇山下 実君 ”
- ◇山里 一郎君 ”
- ◇小畑 和男君 ”
- ◇松岡 孝博君 ”
- ◇神之浦文彦君 ”
- ◇山下 克己君 ”
- ◇橋本 武敏君 ”
- ◇宮本 光藏君 ”
- ◇三村 剛孝君 ”
- ◇寺澤 信義君 ”
- ◇有川 真史君 ”
- ◇藤川 博士君 ”

合計 20,000円

通算合計 582,000円

## 部内卓話

### 「補助金管理セミナー報告」

平村 和弘君



少し前になりますが、私は2月5日(日)佐賀市のホテルマリターレ創世で開催された、ロータ

リー補助金管理セミナーに、次年度ロータリー財団担当理事の山下克己さんと参加してまいりました。

当日、JRで佐賀市へ向かうこととし、初めて長崎新幹線に乗車してまいりました。武雄までの約30分の新幹線は、大変乗り心地の良いものでした。武雄からのリレーかもめは、今まで通りのものでした。早く全線開通すればいいのにと感じてしまいました。それでも、佐賀まで1時間ちょっとで行けるのは便利だと思いました。

会場に到着し、山下さんとコーヒーを飲んで少し時間を潰してから受付を済ませました。

開会の時間となり、上村ガバナーの点鐘でセミナーが始まりました。役員紹介、ガバナー挨拶、地区ロータリー財団委員長挨拶と続きました。

次に講話第1部として、グローバル補助金奨学生としてアメリカのUCLA大学への留学が決まっている、長崎大学病院・感染制御教育センター副センター長の田代将人先生の講話が、「新型コロナウイルス感染症の現在とこれから」と題して行われました。日本で最初にコロナと本格的に対峙したお医者さんの一人である田代先生のお話は、コロナの厄介さ・ワクチンの必要性等、とても興味深いものでした。

先ずは、ロータリー財団補助金で留学できることへのお礼の言葉から始まりました。その後、コロナによってこの3年間は激動の3年間であった。コロナというものが何なのかわからない時から、何とかしないといけないという事で、様々な事を行ってきたそうです。

一番初めは検査できる場所が無かったので、検査体制を急いで作る必要があった。長崎の患者さんは大学病院でしか診られなかったが、感染者数が非常に多くなってきたので、診療科を超えて体制を作る必要があった。また、非常に多くの人が同一の基準で動く必要があったので、マニュアル整備を行ったとの事でした。

大学病院は自分の病院だけやればいいという立場ではないので、地域支援として感染対策の為の教育ビデオを作って動画配信等を行っているそうです。

コロナは既に未知の病気ではなく、いろんな事が分かってきて、その結果、非常に厄介な感染症であることが分かってきたとの事です。症状としては、熱・咳・のどの痛み・鼻水・鼻詰まり・倦怠感・頭痛・下痢等、様々ですが、ややこしいことに全く症状が出ない人もいます。非常に症状が多いということは、体中のありとあらゆる細胞に感

染しうるという事を表している。この症状が出ればコロナである、あるいはこの症状だとコロナじゃないという事が全くできない。熱はないが、嘔吐や下痢の症状の人をコロナではないという事ができないそうです。

命に関わるかもしれない症状を3つお話しされました。1つは意識がない、朦朧としている。或は、普段と全然違うことを言うようなとき。2つ目は血圧が下がっている。手首の血管部分にふれて脈拍が分かれば80はあるそうで、それが感じられない時。3つ目は呼吸が早い。この3つを病院では入院等の判断基準としているとのことでした。逆に言えば、この3つに当てはまらなければ、お医者さんは慌てないそうです。例えば熱が高い、40度ある。熱の高さは命に関係ない事が証明されているので、熱が高いからと言って急いで診察しなければとは思わないとおっしゃっていました。食事を2、3日摂れてなくても大丈夫。ただ水分が摂れていない場合は点滴が必要となるので、病院に来てくださいとの事でした。

どの様な方が重症化するのか？一番強調したいのはワクチンを接種していない方。現在、大学病院に命の危険があると運び込まれる方は100%ワクチン未接種の方。世間でいろいろ言われているが、実際患者を診ている立場からするとワクチンでどれだけ救われているか実感している。

現在主流のオミクロン株は、病原性が落ちているといわれている。2021年に流行ったデルタ株が非常に病原性が高かったので、それと比べると落ちているが、一番初めの元祖コロナと比べると病原性が落ちているとはとても思えない。ワクチンを未接種の方が肺炎重症化で運び込まれるのを見ていると、元祖コロナとなんら変わらない、との事でした。

また、この3年間でコロナに対する治療薬も人類の英知をかけて様々なものが開発されてきたとの事でした。種類としては症状に対する薬、ウイルスそのものに対する薬、免疫に対する薬の3種類があるそうです。現在は、症状に対する薬がメインに使われている。抗ウイルス薬については、重症化リスクのある人に使われている。免疫抑制剤は体内の免疫機能がウイルスと戦うわけですが、あまりに激しく自分自身の命に関わりそうなときに使用されるとの事でした。

感染力の持続期間は、以前も今も10日間で症状が出る前から感染力があり、それがインフルエンザ等との大きな違いとおっしゃっていました。だから、感染を抑え込むのが大変難しいそうです。

後遺症についてもお話がありました。匂いがわからない、味がわからない、だるい、咳が出る、息苦しい等、様々な後遺症があるそうです。まだ研究途上で、分かっていないことがほとんどです。

日本では、2021年6月から本格的にワクチン接種が始まりました。2回以上接種した人は80%。これは世界共通の現象で、どの国でも80%で頭打ちとなっているそうです。

元祖コロナが発生して医療現場はあたふたしていたが、大体1年後にアルファ株が出現し感染力が強くなった。こんなに早く変異株が出てくるのかと驚いていた。さらに驚いたのが、デルタ株。通常、感染力のより強いものが出てくるが、一般的には病原性は落ちてくるだろうと言われていた。こういった認識を覆したのがデルタ株。デルタ株が出てきて、医療現場では身に染みて病原性が物凄く高い株であった。変異株の病原性が上がるか下がるかは、まったくの偶然である。今後、病原性の高い株が出てくる可能性は否定できないとの事でした。

講話2部として、佐賀医科大学名誉教授で佐賀RC所属の香月 武先生の講話が、「グローバル補助金事業におけるモンゴルとのかかわりについて」と題して行われました。香月先生は口腔外科医であり、モンゴルで先天的に顎が半分しかないような人のために現地に赴き手術を行ったり、現地のお医者さんを指導されたりするのに多額の資金が必要だが、グローバル補助金を利用して活動を行っているとの事でした。モンゴルの方達から大変喜ばれているという事で、ロータリー財団への寄付がこのように使われていることを私は知ることができ、勉強になりました。世界の為、地域の為に使われている財団寄付の意義を知ることができました。

講話の後に、事務的な説明がありました。地区補助金は補助対象額の半分まで上限20万円、そしてそのクラブの3年前の財団寄付の4分の1以内ということです。山里会長年度に地区補助金を申請しましたが、総額約10万円の予算で、半分の5万円頂きました。

補助金申請の期限が4月末なので、年度末の忙しい時期と重なり申請しにくいという事があるのかもしれませんが、今後福江クラブも地区補助金を利用した活動を継続して出来るようになることを願って、補助金管理セミナー報告を終わります。

少し寒さがありましたが、マスクも外し楽しいひと時でした。

